

1 施設の概況

福祉事務所及び入所希望者のニーズに最大限応えるべく、積極的な入所受入れを実施した。事務費収入の確保は、毎月 1 日の入所人員が、平成 28 年度より増加（定員超過平均人員 H28、0.91 人⇒H29、3.37 人）しており、安定的な収入確保を実現した。

利用者の傾向としては、統合失調症やアルコール依存症など精神疾患を抱えた利用者の割合が依然、増加傾向にある。専門的な支援を実践できるように、ケース検討会（年 4 回実施）等で外部有識者から最先端の意見も取り入れ、議論を重ねて支援を展開した。

日中に活動先（就労、デイケア等）がない利用者は施設に引きこもりがちとなる。そのような利用者の支援のために「日中活動率」という指標を設けた。活動の中心となる「本木荘トライワーク・プログラム」の推進を図り、日中活動の充実に努めた。特に「公園清掃」は、清掃場所と清掃日を増やし活動の幅が広がった。高齢の利用者も参加しており、何歳になっても働くというやりがいを感じてもらっている。

地域・関係機関との連携を継続できるように、夏祭り・餅つきなどの行事を開催した。地域との繋がりの中、高齢者孤立ゼロプロジェクトの一つである足立区「絆のあんしんネットワーク」の参加が承認された。地域関係は最優先事項の一つである。

2 主要目標と取組

(1) 日中活動の推進及び強化（本木荘トライワーク・プログラムの発展）

利用者の日中活動を推奨し、施設に引きこもることを良しとしない。全ての利用者が何らかの日中活動に継続的に参加できる機会を提供する（活動率 70%以上を維持）。利用者属性が多様化していることを受け、支援メニューの増加を図る。

(2) 専門的支援の質の向上

増加傾向にある精神障害、発達障害等を抱えた利用者に対して障害特性に合わせた専門的支援を実践していく。外部有識者を招いた事例検討会を実施する。

(3) 地域と共に作る開かれた施設

地域行事などを通じて、施設の社会化を図る。地元町会を招いて、地域連絡会を開く。住民が参加できる地域食事会等を継続的に実施し、互いに顔の見える交流を実践する。足立区「絆のあんしんネットワーク」に登録し、地域の一員として活動する。

(4) BCP等に基づく安心・安全な施設運営

大規模災害を想定した防災対策を徹底し、緊張感を持って施設を運営していく。地域との連携、BCPの見直しを適宜行い、水害等についても対策を徹底していく。

(5) 年間入所目標（対定員利用率）

定員	30 年度目標	29 年度目標	29 年度実績(見込)
50 人	70 人 (140.0%)	75 人 (150.0%)	62 人 (124.0%)

3 管理運営

(1) 日常の援助（適切な個別支援の推進）

- ① 利用者・福祉事務所の意向を反映した個別自立支援プログラムを策定する。
- ② 精神障害、知的障害、発達障害の利用者支援を、心理相談員や医療機関、専門機関等と連携し充実させていく。
- ③ 事前見学を主査が統一的に対応することにより施設のルール等を丁寧に説明し、利用者の施設入所への不安軽減と信頼関係の構築を図る。
- ④ 意見箱等で聴取された意見を迅速且つ適正に対応する。入所時に苦情解決制度を全員に周知し、適正に解決する。

(2) 自立促進・転出促進（就労・居宅生活に向けての支援）

- ① トライワーク・プログラムを活用し、日中に利用者が活動できる場を提供する。
- ② バックアップセンターの職業相談員、法律相談等を積極的に活用し、連携する。
- ③ 就労ガイダンスを定期的を開催する。
- ④ 生活訓練室を活用して、自炊訓練を実施する（原則、3 か月間の利用）。
- ⑤ 利用者の状況に即した退所促進

- ア 自立支援会議・ケース検討会等で支援検討を実施し、状況に即した退所促進
- イ 不動産情報の提供及び住宅相談制度を活用してのアパート転出支援の促進
- ウ 借上げアパート事業及び社会復帰促進事業を活用した転出促進

(3) 給食関係 (適切な食事の提供)

- ① 利用者の健康状態に応じた治療食(アレルギー食、きざみ食、糖尿病食等)の提供
- ② 朝食時の粥食・パン食の選択、選択食 (週1回)、誕生日食事会 (月1回)、バイキング食事会 (年2回) の実施
- ③ 郷土料理を提供 (月1回)
- ④ 日常の健康・栄養管理意識向上のため卓上メモを作成 ⑤調理実習 (月1回)

(4) 諸行事

- ① 定例行事 (月1回) 全体・フロア・作業懇談会、アルコール関係ミーティング
- ② その他の行事 夏祭り、散策会、カラオケ会、餅つき会、太極拳教室、ボウリング会、ソフトボール会、ビデオ上映会

(5) 消防・防災等

- ① 自衛消防訓練 (月1回) 総合訓練、地震・水害想定防災訓練、火災想定避難訓練
- ② 防災体制の整備・強化 BCPの点検整備、非常用備品の定期点検と補充、救急救命講習会への受講、防災館の見学体験

(6) 職員会議等

- ① 定例会議 朝の引継 (毎日)、自立支援会議 (月2回)、職員会議 (月1回)
- ② ケース検討会等 専門職を招いたケース検討会の実施 (年6回)、関係諸機関とのケースカンファレンスを実施 (随時)

4 保健衛生・環境整備

(1) 保健衛生 (健康状態の把握・生活向上と健康増進)

- ① 嘱託医による入所時健診及び看護師による入所面接と健康相談 (随時)
- ② 嘱託医健康相談 (週1回) ③ 服薬管理と自己管理への移行援助 (随時)
- ④ 定期健康診断 (年2回) ⑤ インフルエンザ予防接種 (年1回)
- ⑥ 保健栄養教室 (年5回) ⑦ 居室状況チェック (月1回) ⑧ ラジオ体操 (平日朝)
- ⑨ 健康カードを活用した健康活動の増進 (トークンエコノミー法)

(2) 衛生保持・感染予防 (衛生習慣を身につけ疾病予防)

- ① 手洗い・うがいの励行 (随時) ② 入浴 (週4回) (夏季シャワー浴実施)
- ③ シーツ交換 (月3回) ④ 寝具乾燥 (月1回) ⑤ 理髪 (月1回)

(3) 環境整備 (施設内外の清掃徹底)

- ① 利用者による施設内外の清掃 (各階掃除当番、大掃除)
- ② 委託専門業者による床・ガラス清掃、カーテンクリーニング、防虫消毒の実施

(4) 潤いのある生活環境の保持

- ① 快適な生活空間としての施設整備
- ② 園芸活動 (庭木の手入れ・花壇の植栽) による施設内外の美化・緑化推進

5 施設の社会化 (地域交流事業及び施設機能強化推進事業)

(1) 地域との交流促進

- ① 地域包括支援センター・近隣保育園と連携した事業・行事 (保健栄養教室・夏祭り・餅つき等) を実施し、地域住民と触れ合う機会の提供
- ② 足立区主催のアルコール問題連絡会、精神保健福祉情報ネットワーク、おりづる会、足立区こころの健康フェスティバルへの参加 ③ 地域連絡会の実施 (年1回)
- ④ 足立区「絆のあんしんネットワーク」へ登録、絆あんしん連絡会の参加
- ⑤ 区内の病院・各種施設が参加する足立区給食研究会への参加、交流促進
- ⑥ 地域食事会の実施 (週1回) ⑦ 足立区所管の公園清掃の実施 (週2回)
- ⑧ 防災協定に基づく地域との連携 ⑨ 地域清掃クリーンデーの実施 (月1回)

(2) 福祉系大学等の実習生受入れ (社会福祉士、平成30年度6校9人)

(3) 福祉事務所説明会やケースワーカー等の見学会の受入れ